



みつぎっ子

学校教育目標

「やさしく かしく たくましく」

〒400-0048 山梨県甲府市貢川本町8-1 TEL (055) 222-2408 FAX (055) 222-2407 文責：校長 伊東

いい話です

先日、ある記事のタイトルが目にとまりました。どんなタイトルだったかというところ、『マスクなしでバスに乗ろうとした高齢女性。すると……』です。この後、この話はどのような展開になると思いますか？

依然として全国各地で新型コロナウイルス感染症が拡大している渦中でのことですので、マスクをしていない人がバスに乗ってきた、となれば、普通だったら『乗客らが一斉に乗車拒否をした。』とか、『乗客らは一斉に窓を開けた。』とか、『乗客らは次の停留所で一斉に下車した。』といった話の続きを予想される人も少なくはないでしょう。

しかし、実際は違ったのです。この記事ですが、ある女性が、Twitter に投稿したバスでの出来事です。ではこの話の全貌を紹介していきましょう。

この投稿者がアルバイトの帰りにバスに乗った時のことです。車内にマスクを着用しない高齢女性が乗ってきました。すると、高齢女性に対し、「マスクをお持ちじゃないですか？」と声を掛けるバスの運転手。高齢女性は「あ！ヤバい！マスクないと乗れない？」と焦ります。どうやらその高齢女性は、マスクを着用し忘れていたようです。すると、バスの乗客たちは、一斉にバックの中を探ります。その後、乗客の1人である中年女性が「どうぞどうぞ」と言いながら、未使用未開封の個別包装に入っているマスクを差し出したということです。

この一連のエピソードに対し、ネット上では、「素晴らしい」「心が温かくなった。優しい世界だなあ」「日本は捨てたもんじゃない」といった声が上がっていたそうです。私も、「乗客たちが一斉にバックの中を探った」という様子から、「マスクを貸してあげようと、皆が同じ事を考え、一斉にバックの中を探ったんだ」と想像できました。きっと皆さんも、同じ事を予想されたのではないのでしょうか。コロナ禍だからこそ、私達はどんな環境下においても他者を気遣える、そんな心のゆとりを持ち合わせてほしいですね。いい話でした。

「学校評議員会・いじめ対策支援会議」が開催されました

7月13日(火)、今年度第1回目に当たる「学校評議員会」が開催されました。お越しいただいた学校評議員さんは、貢川地区にお住まいの「矢澤 詳路 様」「杉田 慶子 様」「山田 亜紀 様」の計3名です。まずは、学校長より評議員の方々に「委嘱状」をお渡しさせていただきました。その後、今年度第1回目の学校評議員会を行いました。この会議では、「今年1年間の学校経営」「子ども達の様子」「安全確保の取り組み」について、ご説明をさせていただきました。後半は、学年主任も同席し、「各学年の子どもたちの様子」と「いじめ防止に向けての取り組み」について報告をさせていただきました。この後、各教室を参観していただきました。

評議員の皆様からは、大変貴重なご意見・ご感想をいただくことができました。明日からの学校づくりに生かして参ります。ありがとうございました。



【矢澤 詳路 様】



【杉田 慶子 様】



【山田 亜紀 様】



※授業参観

お茶の配付について

先日、子どもたちが「お茶」を持ち帰ったと思います。突然、驚かれた方もいらっしゃるかもしれませんが、静岡県の牧ノ原茶PR協議会から甲府市教育委員会を經由して子どもたちに無料で配付されたものです。同時にお配りしたお便りにもありますように、このお茶は、新型コロナウイルスの影響で、販売機会を失ったお茶を活用して、全国の小中学校の子どもたちに配付しようという、牧ノ原茶PR協議会による取り組みだとうかがっています。

今もなお、様々なところで大きな影響を与えている新型コロナウイルス。1日も早く終息し、いつも通りの日常生活が戻りますように…。



～美味しくいただきました～

不審者侵入対応訓練

今日(7月14日)は、タイトルのとおり「不審者侵入対応訓練」を実施しました。

「みつぎっ子8号」でも書かせていただきましたが、あの凄惨な池田小事件から、ちょうど20年の歳月が経ちました。あの事件から、全国の学校現場では「不審者侵入対応訓練」が実施されるようになりました。それまでは、「学校は安全な場所」だったはずでした。しかし、「学校も安全な場所とはいえない」ということを、改めて考えさせられる事件でした。

今回の訓練は、「2校時の授業中(午前10時)に不審者が学校に現れる。」といった想定で行われました。児童玄関付近で声を荒げる不審者役(警察官)に対し、緊急招集された職員(特別委員会職員)が、張り詰めた空気の中、本番さながら対応します。不審者役の演技により、周囲には氷が張り詰めたような、日常生活では味わうことのない「緊張感」が伝わってきます。各教室では、緊急放送の後、教室のドアを施錠し、ドア周辺に机でバリケードをつくり、身を潜めて待機します。職員室では、事前の打合せ通り、直ちに甲府警察署と甲府市教育委員会に通報しました。数分後、パトカーが到着し、犯人は無事、確保されることとなりました。

この後、テレビ放送により「防犯講話」を行いました。生活安全課の方から、不審者から、どうやって自分の身を守れば良いのか、教えていただきました。

今回の訓練は授業中の想定でしたが、もし「休み時間」「登下校中」「休日」だったら…。いざというときに、どう行動すれば自分の命を守ることができるのか、しっかりと確認して備えておくことが大切です。



不審者が侵入した場合、直接、現場に駆けつけて対応する「特別委員会職員」。本校では、男性教員が担当をしましたが、先生たちが自分自身の身の安全を確保しながらも、勇敢に不審者対応を行って素晴らしかったと、講評をいただきました。もし訓練ではなく、実際に不審者が学校に侵入してきても、1人の被害者も出さず事案を解決できるよう、これからも行動マニュアルの見直しを繰り返しながら、備えを万全にして参ります。

なお、防犯講話では、「不審者に声を掛けられたときどうすればいいか」「知らない人に写真を撮られたらどうすればいいか」この2点について、お話をさせていただきました。今日お世話になった警察の方、そして、そのご家族が出演して制作されたというDVDを視聴させていただきながら、大切なお話をお聞きしました。ありがとうございました。